



やまがた

令和3年1月

No. 135

議会だより

発行 〒390-1301 長野県山形村議会 (代表 三澤一男)

編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078

第4回 議会定例会

連日のコロナ蔓延の中

令和2年最後の議会

- ・一般質問の要約 2ページ
- ・各種研修会 3～6ページ
- ・各種研修会 7ページ
- ・キャッチボール 8ページ



清水寺と佐藤牧場

2020.12.28撮影

連日のコロナ蔓延の中 令和2年 最後の議会

令和2年

第4回定例会

第4回定例会を12月4日に開会し、12月14日まで11日間開催した。

陳情1件、議案12件を審議のうえ可決した。

一般質問はコロナ禍の中で、時間を短縮し、12月8日に9人が登壇し、村政全般について質問を行なった。

陳情

◆安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

議案

◆令和2年度トレーニングセンタートイレ改修工事の変更請負契約の締結について

◆山形村議会議員及び山形村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

◆山形村税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例について

◆山形村国民健康保険条例の一部を改正す

る条例について

◆山形村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

◆山形村ふるさと伝承館設置条例の廃止について

◆令和2年度山形村一般会計補正予算（第6号）

◆令和2年度山形村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

◆令和2年度山形村介護保険特別会計補正予算（第3号）

◆令和2年度山形村清水高原簡易水道特別会計補正予算（第2号）

◆令和2年度山形村水道事業会計補正予算（第3号）

◆特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について



ふるさと伝承館

一般質問

議員9人が

村政を問う

一般質問は12月8日に行なわれ議員9人が村政課題をただした。感染防止の観点から一人当たりの質疑時間は、今定例

会も通常の60分から40分に短縮して、こまめに休憩時間を挟み、議場内の換気などに配慮しながら開催されました。

行政運営総括と未来志向ビジョンは

村長 自然と調和した美しい田園都市を目標に注力!!



大月 氏夫 議員

Q 「生きがいを感じて暮らせる、住み甲斐のある村づくり」の指針に基づき推進された行政運営の現時点での総括

結果は。

A 子育て支援策として、病後児保育・産後ケア事業等々開始した。また風食防止対策や連絡班などの課題については、まだまだ解決に至らない項目も多く、自己採点では60〜70点ぐらいで自慢できる成果までには至っていない。

Q 今後重点的に注力すべきと考える代表的な施策は。

A 感染症対策がまだ暫くは続くことが予想されるので、今後もウィズコロナの対応が必要だと思われる。また環境問題では、当村は農村であるが、非農家も多く混住化が進んでいる。今後はより一層、自然環境を巡る行政課題への対応の重要度が高まるものと思える。

Q 村民の多くが共有し、一様に目指したい。山形村の未来志向ビジョンを伺いたい。

A 「ちょっとだけ都会風で緑豊かな農村」との表現は、山形村の特色であると思われる。自然と調和した美しい田園都市を目標に、行政の役割を果たしていくことが重要になると考える。

その他、新年度予算編成の基本姿勢について質問した。

小坂二の沢ダム建設計画の進捗状況は

村長 令和3年度からの事業化に向けて要望中である



小林 幸司 議員

Q 二の沢ダム建設計画の経緯は。

A 「二の沢の上流には不安定な土砂や倒木が多くみられるため、

下流部への土砂流出を防ぎ、地元住民の生命と財産を守るため砂防堰堤を整備する」と事業計画書に記されている。村としても二の沢には砂防対策施設がないため、災害に強い村づくりには必要なものと感じている。

Q 建設にあたっての下流域の河川改修や道路整備計画は村として考えているのか。

A 今のところ計画はないが、県としての設計が具体的になれば地域全体として河川改修や道路整備について精査して、必要があれば計画していきたい。

Q 現場の地質についての調査、研究は行なったことがあるのか。

A 松本建設事務所では昨年の秋に、現地調査と簡易的な測量を実施した。本格的な地質調査及び地形測量は、正式に事業化されてから行なう。

村長公約(子育て支援施策)の自己評価と今後の課題は

長「高校生の交通手段の確保」に
村 ついては進捗していない



春日 仁 議員

Q 「保育料の軽減と多子世帯の負担軽減」については。

A 本年度の軽減状況は、多子世帯減免として県の軽減制度も含め、20名総額147万7200円の軽減を見込んでいる。また、昨

年度は総額147万円の軽減実績であった。

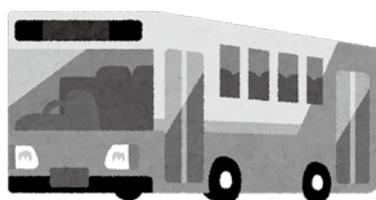
Q 「小学校低学年の25人規模学級の導入」については。

A 小学校1・2学年の1学級30人未満による学級編成を行ない、教職員が丁寧子どもと関わることができるようになり、「小学校低学年の25人規模学級の導入」については、学習環境面でほぼ達成がされてきていると考えている。

Q 「高校生の交通手段の確保」については。

A なかなか進捗していない状況である。村の公共交通については、既存路線の維

持を最優先と考え、路線バス利用者への補助を行なっている。その基本的な考えに加え、今年度、松本地域公共交通協議会で行なっているアンケートの回答内容や意向も踏まえ、どのような方策が適当なのか検討したいと考えている。



その他、病児保育・病後児保育について質問した。

伝承館の建て替え計画について

村長 教育委員会が中心に今後進めていく



福澤 倫治 議員

Q 村長として1期4年の成果について。

A 連絡班未加入者の問題と風食防止対策について。

A 連絡班未加入者問題については、防災面などにおいて特に必要な共助の部分を担っていたためには、重要な組織だと思っているので、区長さんや連絡長さんに協力をいただいている。

風食防止対策については、風食防止用の麦

年度は総額147万円の軽減実績であった。

Q 「小学校低学年の25人規模学級の導入」については。

A 小学校1・2学年の1学級30人未満による学級編成を行ない、教職員が丁寧子どもと関わることができるようになり、「小学校低学年の25人規模学級の導入」については、学習環境面でほぼ達成がされてきていると考えている。

Q 「高校生の交通手段の確保」については。

A なかなか進捗していない状況である。村の公共交通については、既存路線の維

やソルゴの播種など多目的に対応が必要だと考える。

Q 三間沢川の護岸工事及び土砂の撤去について。

A 護岸工事については、未工事箇所4カ所で今年度から5年計画で事業化されている。

土砂の撤去については、状況を注視している。

Q 伝承館の建て替え計画について。

A 建設年度などについては、住民の皆さんのご意見、ご提案を尊重し早く建設したい。

Q 2024年の開村150年の年に合わせ竣工してはどうか。

A その可能性もある。



村の宝

今年度、施工された農道 利用の排水路の管理は

村長
管理者は山形村



竹野入恒夫 議員

今年度、施工され

Q

た排水対策の農道利用の排水路、左右の農地にブロックで傾斜をつけて農地に水が入らないようにしてあるが、排水路のブロックにもう土が溜まっている畑がある（路肩部分のブロックの上）。この管理はどこでするのか。

A

東原・大池原の排水対策事業は、農業の繁忙期に通行止めを実施するなど、村民の皆さん、特に耕作者には大変ご迷惑をかけている。皆様の理解と協力のおかげで工事にも順調に進んでいる。道路の路肩ブロックは道路敷地内に設置してある。ここまで含めて道路のため、管理者は山形村。現地状況をみると、トラクター等の耕作機械が回転する際に、畑の中から出た土である。道へ出た土は雨水と共に流れ、暗渠排水管の中に溜まってしまう。流入先の河道内にも堆積し、氾濫しやすい状況を作り出すことが予測される。当排水対策事業は、農地の雨水排水を望む要望によって事業化した経過もあり、耕作者は畑から土を出さないように気を付けて作業をしていただくことが必要。

その他、清水寺森林公園の周辺・外来植物や害のある植物や、マイマイガについて質問した。

山形村農業が活発で

余裕のある農業を目指して

長
新興塾や青年会議は農業後継者を
村
育てるための組織ではない



上條倫司 議員

Q

育成塾・新興塾と
農林青年会議の2つ
を行なっていれば農業後
継者は育つと考えたのか。

A

基本の考え方として新興塾や青年会議は、農業後継者を育てるための組織ではないと考える。新興塾は、先進農家の視察や意欲的な塾生同士の交流や情報交換によって、技術の習得や営農の情報収集の効果が高い事業との認識を持っている。また、農村青年会議は、同じ山形村内で同世代の若手農家の交流の場や、横のつながりを持てる場所といった意味合いが強いと考えている。

議員の言う「農業後継者の育成」という観点では、やはり自身の親や地域の現役経営者から、技術や経営について実践を交えて受け

継ぎ、それを発展させていくということが一番かと思われる。

志ある者同士がこうした学びの場などへ参加を通じて知識を豊富にし、仲間同士の連携を強くしたりする場だと考える。

Q

「農業を始める様々な方への技術習得と経営感覚を学ぶ場所の提供」

A

農業をやりたい方が増えることは村のである。事業経営なのか趣味程度か、それぞれの要望に応じられる守備範囲の広い学びの場や、就農学習の受け皿の整備ができればよいが、村単独では現実的には難しい状況だ。



大池原にて撮影

地域未来塾事業への取り組みを

教育長
来年度から、小・中学生を
対象に実施する予定



大池 俊子 議員

Q コロナ禍の中で、仕事を減らされたり

失業などで生活困難な家庭も増えている。この地域未来塾事業は、学習支援員等の地域の人材やICTの活動等により、学習の遅れがちな児童・生徒に対して地域と学校が連携協働して原則無料の学習支援を行う

近隣市村と連携した公共交通の活性化は

長
行政界にとらわれず利便性の
高いものの構築に取り組みたい



新居 禎三 議員

Q 近隣市村と連携した公共交通の構築の

進捗状況は。
A 今年度から松本地域公共交通協議会に朝日村も加わり、生活圈を共にする市村で連携を一層密なものとし、利便性の高い公共交通の構築に向け取り組みたい。

なう取り組みであるが、この事業への取り組み状況は。

A 来年度から新たに地域未来塾事業に取り組みたい。

Q 対象とする子どもの人数・予算、及び場所や時間は。

A 小・中学生それぞれ15人程度の参加を考えている。来年度予算に計上する方向で精査している。場所はトレセン大ホールで、月2回土曜日に、午前は小学生2時間、部活のある中学生は午後に3時間の予定。

Q 支援員確保の見通しは。

Q 感染症対策として令和2年8月から3年3月までの予定で路線バスを増発して3密対策を行なっているが、感染症が収まらなければ4月以降の対応をどのように考えているか。

A 地方創生臨時交付金を活用して運行をしているが、利用者も多く一定の効果があったと考えている。4月以降は、感染症の状況を踏まえ判断することになるが、来年度の当初予算に計上することは難しいと考えている。

その他、コロナ禍の健康増進について質問した。

A 学校支援地域本部の地域コーディネーターを事業運営の推進役に位置付けたい。

その他、高齢者の免許返納後の支援について質問した。



3密回避のため2台で運行される路線バス

区三役・議会議員 合同研修会

災害に備える “いざという時のために”



地震・台風・火山噴火等々、災害が発生しやすい国土条件の中、近年の世界規模での異常気象は、災害に備える意識高揚の促進が急務となっています。

本年度の合同研修会は11月12日に塩尻市総務部危機管理課・防災専門官の 矢花 光博 氏（山形村在住）に講師をお願いし、当村における具体的な地震被害想定等の説明を受け、いざという時に地域で活動（共助）する住民組織を自立させることの重要性を学びました。

全国町村議会 議長・副議長研修会

講演の動画配信を活用し全議員で受講

議会常任委員会単位で各種行政課題の事務調査として、先進地に赴いて毎年実施してきた「視察研修」は、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受け、不本意ながら本年度は取りやめ、11月6日ミラ・フード館「シアタールーム」にて全国町村議長・副議長研修会用講演の動画配信を活用し、全議員で受講しました。

議会改革から防災・減災対応等の4講義（下記記載）を終日かけて聴講し、議員間討議に発展させる貴重な機会となりました。



～ 演題及び講師 ～

①議会改革の最前線

山梨学院大学法学部教授 江藤 俊昭 氏

②町村議会議員のなり手不足問題と今後の地方議会

東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏

③自治体の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一 氏

④「新たな生活様式」と地域観光

國學院大學研究開発推進機構教授 梅川 智也 氏

山形村三団体懇談会

環境に配慮し “GAP” で健全な農業経営



12月17日に農業委員会・JA役職員・議会議員の三団体で懇談会が行なわれました。

本年度は農業委員会が当番幹事で、松本農業農村支援センターの小林佳昭氏と荒井政昭氏をお招きして「農薬適正使用及びGAPの推進について」と題してご講演いただきました。

農地と住宅地が混在する当村では、より周辺への影響に配慮した対応が求められることや、GAP（農産物の安全を確保し、より良い農業経営を実現する取り組み）を実施して持続的な農業生産を実現して経営改善をはかることなどの有意義な研修でした。

私の一言



マスクをしてから改めて思うこと
(上竹田) 水谷 久志

分館の役員をやらせていただいたときに「絆」を前面に出す私は一人の部員の方に言われたことがあります。

「絆」という字を辞書で調べてください。「家族や友人との離れがたいつながり」だけではありません。「家畜や動物、罪人が逃げていかなないようにつないでおく綱」という意味があるのです。強い参加要請、常会割り当てなどは村の3割近い方の常会、連絡班未加入の原因の一つになっていますよ。えっ?!

まあ、辞書的な意味はともかく、これまでずっとスポーツ大会大好き、飲み会大好きで歩んできた自分を顧みる機会となりました。

今、コロナ禍で様々なイベントや会議が中止、規模縮小になって寂しいとか不便だと感じることもあります。半面、これはなくても困らない、精神的にも時間的にも負担が減ったというものもあります。防災や教育などは全体で関わり、レク的なものは個人の価値観や希望を大切にして距離をとって関わる方が温かい「絆」になるように思います。

山形村と松本大学が連携する事業の中に地域コミュニティの在り方、多様化する価値観への対応もあってとても期待しています。



私のつぶやき
(下竹田) 平林 おり子

私が山形村に越して来てから42年が過ぎました。当時は、お店もあまりなく、家の前の道路は未舗装でした。役場は今の伝承館の建物でした。その頃と比べたら今は、転入された方も多く、工場団地、商業施設、コンビニ、医院等ができ便利になり、福祉も充実し、とても暮らしやすくなりました。

今迄、色々な方にお世話になりました。今日まで来られました。今もシルバーの仕事で村にお世話になっています。皆様に、感謝申し上げます。

最後に私のつぶやき。山形村はおいしい物が沢山あります。スイカ、長芋、ゴボウ、果物、野菜、ケチャップ等の加工品。おいしい物を作る腕を持った、おかあさん達。おいしいご飯やおやつを食べることのできるお店があったらいいなあと思います。加工品や野菜、手芸品、何でも買える場所が欲しいです。



編集後記

「密」

昨年の漢字は「密」でしたが、国民全員が「耐」だったように思います。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。今年の暮れには躍動の「躍」が選ばれればいいですね。

小林 幸 司

訂正

前10月号No.134の5ページ小林議員の答弁は教育長ではなく村長の誤りでした。



発行責任者

議長 三澤 一男
副委員長 小林 幸司

委員長 上條 倫司

委員 春日 仁

委員 新居 禎三

委員 大月 民夫

委員 福澤 倫治

委員 福澤 倫治